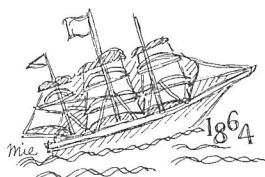


DOSHISHA REPORT



法人部

●第15回国際交流に関するエッセイコンテスト表彰式

1月31日

同志社国際主義教育委員会が国際交流プログラムの一環として、国際交流に関するエッセイを法人内各学校の学生・生徒から募り、国際交流や国際問題に関する考えを発表する機会として実施している。第15回目となる2010年度は、日

本語部門14点（大学生の部8点、高校生の部4点、中学生の部2点）、英語部門30点（大学生の部2点、高校生の部17点、

中学生の部11点）の作品応募があった。審査委員会の厳正な審査により受賞者を決定し、大学ク্লাーク記念館ク拉克・チャペルにおいて表彰式を行った。日本語部門、英語部門それぞれの最優秀賞、優秀賞、佳作の受賞者に対して、大谷實総長から表彰状と副賞を授与した。

●同志社創立135周年記念「東京新島講座」

2月12日

東京神田にある学士会館において、同志社創立135周年記念東京新島講座を開催した。講演第1部では、村田晃嗣大文学部教授が「日米中関係の展望」と題し、講演第2部では、渡辺好章生命医科学部教授が「創造とプロデュース・プロデュース・テクノロジーの視点から」と題した講演を行った。同志社が135年の歴史をかけて手掛け、さらに今後も大切に培っていかねければならない「人物の育成」をテーマとした、同志社創立135周年記念行事の最後を飾るにふさわしい講演会となった。

●2010年度同志社総長賞表彰式

3月26日

同志社総長賞は、スポーツ活動および文化活動の国際大会、国際コンクール等

において入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童、園児に対して、総長がこれを顕彰することを目的として2003年度から設けた。

2010年度は、大学長からの推薦で個人5人と1団体（4人）の受賞者を決定し、表彰式を大学神学館礼拝堂で行った。大谷實総長の式辞、野本真也理事長の祝辞の後、大谷総長から受賞者にそれぞれ表彰状と副賞を授与した。

●同志社国際学院良心碑除幕式

3月29日

同志社国際学院開校式終了後、校内見学に引き続き、正門前において、同志社国際学院良心碑除幕式を執り行った。開校式に出席した多くの方々に見守られるなか、大谷實総長の挨拶に続き、大谷實総長、野本真也理事長、八田英二大学長、大迫弘和国際学院初等部・国際部校長による除幕を行った。

●2010年度退社式

3月31日

大学神学館礼拝堂において退社式を挙げた。2010年度退職者37人のうち、27人の参加があった。前奏に始まり、讃美歌斉唱、中村信博女子大学宗教部長の聖書朗読ならびに祈祷に続き、大谷實総

長、野本真也理事長からの感謝のことばがあった。その後、長年本法人の教育研究充実のため大いに貢献された方々の功労に対し、本法人を代表して、野本理事長から感謝状が送られた。最後に、野本理事長の祝辞で退社式を終了した。

●第6回同志社キリスト教教育講演会

3月31日

新入社員を対象に、同志社の建学の精神、同志社の歴史、同志社のキリスト教主義等を理解する機会を提供することを目的として、大谷實総長と本井康博大学神学部教授を講師とし、大学寒梅館で同志社キリスト教教育講演会を開催した。

大谷総長は「同志社の教学理念と教学体制」、本井大学神学部教授は、「志を継ぐ——同志社を同志社とするために——」を演題に講演した。新入社員はもとより、出席者は改めて同志社の建学の精神等に想いを馳せ、有意義な時間を過ごした。

●2011年度入社式

4月3日

大学神学館礼拝堂において入社式を挙行了した。本年度の採用は、大学教員65人、女子大学教員14人、中学校・高等学校教員3人、香里中学校・高等学校教員2人、女子中学校・高等学校教員1人、国際中

学校・高等学校教員1人、小学校教員1人、国際学院初等部・国際部教員12人、大学職員13人の計112人である。大谷實総長と野本真也理事長が歓迎のことばを述べ、野本理事長が一人ひとりに辞令を手渡した。

●立石フアンド寄付金贈呈式

5月28日

立石信雄氏（オムロン株式会社相談役、学校法人同志社理事）から同志社各中学校・高等学校の英語力強化のために多額の寄付の申し出があり、有終館において立石フアンド寄付金贈呈式を執り行った。立石氏から、同志社での英語教育がご自身の国際経験の礎になったとの話があり、今後のグローバル化への対応に寄付金を有効に活用いただきたいとの挨拶ののち、目録贈呈があった。引き続き、大谷實総長から厚い感謝のもと感謝状と記念品が贈呈され、理事長、各中学校・高等学校長から謝辞があった。この寄付金を活用することで、各中学校・高等学校における特色ある国際主義教育の展開、英語能力の向上が大いに期待される。

※現在、オムロン株式会社特別顧問

●2010年春の叙勲

大学名誉教授の吉川進三氏が瑞宝中綬

章を受章し、6月27日ホテルイースト21において伝達式が行われた。

●第4回同志社研修・交流会

6月29日

建学の精神、教育理念を同じくする法人内各学校の教職員の研修と交流を進め、連携強化を図ることを目的として実施している。今年度は大学尋真館において、「同志社の更なる国際化と一貫教育」と題した勝山貴之大学教育開発センター所長の基調講演の後、分科会方式での研修を行った。研修会には約200人の参加があり、報告のあった各学校の取り組みについて理解を深めるとともに、交流会では日頃接することの少ない各学校教育職員が交流する意義深い機会となった。

大学

●国際高等教育シンポジウム「国際学生教育のためのFD」

3月10日

クラーク・チャペルにおいて、国際連携推進機構主催の国際高等教育シンポジウム「国際学生教育のためのFD」が開催された。学生の国際的流動化を推し進めている欧州から6人、日本国内から2人の高等教育関係者が招かれ、国際学生

教育に関する諸問題について広く意見交換がなされた。

●Doshisha Spirit Week 2011

SPRING

5月30日〜6月4日

同志社大学を学び、知る、1週間として、両校地で催しを開催。今出川校地では講演会とキャンパスめぐり隊による新島旧邸の案内。京田辺校地では応援団による演舞、講演を実施した。主催はキリスト教文化センター。

●烏丸キャンパス建設地発掘調査についての現地説明会

6月11日

本年1月から京都市埋蔵文化財研究所と共同で行ってきた烏丸キャンパス建設に伴う発掘調査について一般向け現地説明会を開催。調査地は、京都五山の一角を占める名刹である相国寺旧境内西辺にあたり、中世相国寺の建物跡・施設などが遺存すると想定された場所である。中世上京における大寺院の様相を示す成果が報告された。

●同志社フエア③函館

6月12〜14日

全国の卒業生との絆をより一層深めるため、同志社大学の原点とも言える「新島襄脱国の地」、函館で開催。12日は「全国同志社卒業生との集い」、13日は「新

島足跡ツアー」ゆかりの地を訪ねて」と映画上映、14日は「碑前祭」が催された。

●「東日本大震災復興支援」チャペル・コンサートを開催

6月25日

今出川校地の神学館礼拝堂にて、キリスト教文化センター主催により「チャペル・コンサート」を開催。恒例となっているコンサートだが、今回は去る3月11日に発生した東日本大震災により被災したキリスト教学校の復興支援をテーマとし、東北学院大学教授でオルガニストの今井奈緒子先生をお招きしてのパイプオルガン・コンサートとなった。

●烏丸キャンパス新棟建設工事起工式

7月1日

烏丸キャンパス新棟の起工式が行われた。工事の安全を祈願し、参加者約50人が礎石に名前を書き、建物の柱下に埋めるジュラルミンケースにおさめた。

●会津若松市長来学

7月18日

2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公が創立者新島襄の妻・八重に決まったことを受け、八重の出身地で物語の主な舞台となる福島県会津若松市の菅家一郎市長が本学を訪問された。

女子大学

●京田辺キャンパス

中庭愛称「Vinculumの庭」に決定

2010年3月に整備が完了した京田辺キャンパスの中庭の愛称を、在学生を対象に公募。応募総数26通の中から、審査の結果、生活科学部人間生活学科・嶋崎智美さんの「Vinculum（ウインクルム）」の庭が選ばれた。Vinculumとはラテン語で「絆」を意味し、新約聖書「コロサイ人への手紙第3章14節」にも出てくる言葉である。「新しく生まれ変わった中庭が、大切な学友との絆を育み、大学生生活を謳歌する人で満ち溢れますように」との想いを込めて名付けられた。2月4日には、学長室にて表彰式が執り行われた。

●表家文化学部公開講演会

6月13日

今出川キャンパス栄光館ファウラーチャペルにて、作家であり日本文学者でもあるリービ英雄氏をお招きして講演会を開催。「日本語の旅―西洋出身者として初めての日本文学作家が、万葉集から現代まで日本語の表現の可能性を語る」と題された講演では、日本文学の研究者と

してだけではなく、自らが日本に定住し、日本語で小説を書くことを決心された経緯など、興味深いお話を日本語で紹介いただいた。来場者は350人を超え、講演後も熱心にリービ氏に質問をされる姿が見られた。

●同志社女子大学の集い

オークラアクトシティホテル 浜松

6月11日

横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ

6月12日

リーガホテルゼスト高松

7月9日

ANAクラウンプラザホテル福岡

7月10日

「同志社女子大学の集い2011」を浜松、横浜、高松、福岡の4会場において開催。2002年「地区別懇談会」と称して始まったこの行事は、卒業生と在学生のご父母の皆様、本学の近況をお伝えするとともに、講演会や懇親会を通して参加者同士の親睦をはかることを目的に、同志社女子大学同窓会《Vineの会》、栄光会（在学生父母会）の協賛により開催している。いずれの会場も加賀学長の挨拶、大学の近況報告に引き続いて、影山貴彦情報メディア学科教授より「大学

でメディアを学ぶということ」と題して講演が行われた。懇親ティーパーティーでは、卒業生からスピーチをいただき、大学時代の思い出などをお話しいただいた。その他、在学生のご父母を対象とした就職説明会、キャリアサポートセンター職員による個別相談を行った。

中高

●入学式

中学

高校

4月5日

4月6日

新キャンパスでの中学・高校（別日開催）揃ったの初めての入学式を執り行った。中学校にとっては、初めての新キャンパス1期生を迎えた。

●中学3年生 HR委員研修会

4月15・16日

びわこリトリートセンターにて、3年生各クラスHR委員と生徒会執行委員会に参加し、1年間の活動方針等を協議した。

●中学2・3年生 遠足

4月20日

新しいクラスでの初めての行事。飯ごう炊さんを行い、交流を深めた。

●中学1年生 オリエンテーションキャンプ

4月20・22日

滋賀県の休暇村で開催された。新入生にとって、新島襄・同志社について深く学び、また友だちを作る良いひと時となった。

●高校遠足

4月26日

各クラスで計画した場所で、飯ごう炊さん・BBQを楽しみ、クラス内の親睦を深めた。

●中学生徒大会

5月12日

新校舎での初めての生徒大会がグレースチャペルで行われた。工夫された進行で今年の生徒会活動方針について活発な討論が行われた。

●中学演劇鑑賞

6月3日

劇団風の子による「十二の月の物語」を雄飛館（体育館）で鑑賞し、自然と人間の共生を物語る幻想的な舞台を楽しんだ。

●高校球技大会

6月6日

熱戦が繰り広げられた。

●中学公開授業研究会

6月13日

新校舎で始まった「教科教室センター方式」や「電子黒板」での授業を広く紹介する研究会を開催した。全体会議では

参加した他校からの教職員、研究者、本校教職員による活発な議論がなされた。

●中学球技大会

新キャンパスでの初めての球技大会。

6月16日

今年度はバレーボールに加え、フットサルの試合も行った。後半は雨となったが、みんな精一杯、楽しんだ。

●高校2・3年生 演劇団体鑑賞

6月17日

「ヘレンケラー」を鑑賞した。

●高校1年生 クラス合宿

7月14・15日

全8クラスが1泊の研修に臨んだ。クラス内の親睦をより深め、秋の岩倉祭に向けての計画を固めた。

●中学1年生 由良キャンプ

7月22～30日

全体を4期に分け、各期2クラスずつが参加した。宮津市由良の本校キャンプサイトで2泊3日のキャンプを楽しんだ。日本海での遊泳、各班ごとのスタンツなどで、クラスメイトとの友情をより深めた。

●中学2年生 唐松岳登山キャンプ

7月22日～8月3日

長野県北アルプス唐松岳登山キャンプ

を4期間に分け、2クラスずつで行った。登山・下山計6時間かかる本格的な登山で、信州の雄大そして繊細な自然を楽しんだ。

●高校 ウェスリー交換留学

7月22日～8月7日

オーストラリア・メルボルンのウェスリーカレッジとの交換留学を行った。異文化の中での生活を通し、自らを大きく成長させる機会となった。

女子中高

●3学期の特別礼拝

- ・新年礼拝 1月7日
- ・創立者永眠記念礼拝 1月20日
- ・創立者生誕記念礼拝 1月20日

高校・2月14日／中学・2月15日

・終業式礼拝

3月16日

●卒業式

- 高校卒業式(262人) 2月18日
- 中学卒業式(247人) 3月17日

●修学旅行

高校2年生は、今年度から2月実施となった。2月3日～6日の3泊4日の日程で、行き先地は沖縄。1日目、到着後

に首里城・嘉手納を訪ねた。2日目は糸満市で、講師の先生から平和講話を聞く。その後、平和祈念公園・資料館・糸数壕・ひめゆりの塔などを見学。3日目は、美ら海水族館見学の後、サトウキビ収穫・黒糖作り、琉球舞踊体験などをクラス・班別で体験した。4日目は那覇国際通りで班別自由行動の後、閑空へ。

中学2年生は、3月18日～20日の2泊3日の日程で実施。行き先地は九州・長崎方面。1日目は平和公園、原爆資料館を見学した後、被爆体験者の方の講話を聞いた。2日目は長崎市内を班別で自主行動。その後、ハウステンボスへ。ここも班別自主行動で見学した。3日目は嬉野陶彩館で手びねり体験。昼食後、博多駅へ。京都へ向かった。

●スキー学会

東日本大震災のため中止。

本来ならば、3月18日～22日、北志賀・竜王スキー場で高校1年生の希望者を対象にスキー講習会を実施する予定であった。

●新入生を迎える日

3月25日
宗教教育や授業、行事、クラブ活動等についての説明を実施。また、聖書・讃

美歌・「新入生のしおり」等を配布し、入学前のガイダンス・写真撮影などを行った。

●国際交流ヌエバ校との交流

3月20～28日
サンフランシスコ・ヌエバ校への生徒派遣に、本校からは多数の応募者の中から選ばれた5人が、他の同志社3中學生とともに参加した。

5月のヌエバ校の生徒の皆さんの来日と、同志社4中学校への来校は、ヌエバ校の都合により中止となった。

●入学式

中学新入生254人

4月7日

高校新入生270人（内、外部生24人）

5月12日

●遠足
中学2年生から高校3年生が、学年ごとにバス遠足を実施。今年度初のクラス親睦の一日を、互いに意義に過ごした。

●中学1年生修養会

5月6～8日

兵庫県篠山市のユニトピアささやまにて、今年も「同志社で学ぶ―自分を見つめ、友達を理解して隣人になろう―」を主題に修養会を行った。礼拝と団体生活を通して同志社教育の根幹であるキリスト教主義の教育について学び、また友人

や先生との交流を通して本校で学ぶ意義を考えた。

●球技大会

高校生は5月11日、雨天プログラムで実施。中学生は6月23日に実施した。バレーボール、ドッジボール、ポートボール、バスケットボール等に終日、大きな歓声がこだました。クラスの絆がいつそう深まった一日であった。

●オープンキャンパス

6月25日

小学生、中学生とそこご家族を対象に実施。午前の部、午後の部に分かれ、礼拝のあと授業体験に参加していただく。また並行して、クラブ活動、および校内の諸施設見学にも参加していただいた。

●芸術鑑賞

6月28日

京都会館第一ホールにて、劇団芸優座による演劇「O・ヘンリー物語 The Last Leaf」を中高合同で同時鑑賞した。

●1学期の特別礼拝

・女子部創立記念礼拝

4月21日

・母の日礼拝

5月19日

・春季宗教教育強調週間特別礼拝

6月6～10日

・花の日礼拝

6月17日

なお、同日午後から、高校1年生は施

設訪問に、高校2年生は高齢者福祉講演会に、高校3年生は車椅子バスケット体験に参加した。

国際中高

●卒業式

高校

3月11日

中学

3月18日

●中2・高2研修旅行

3月14～17日

中学2年生は長崎、高校2年生は沖縄を、3泊4日の日程で訪問。現地で平和学習を行った。

●留学プログラム

3月18日～

アメリカ、中国、フランス、大韓民国それぞれを訪問する、海外短期留学のプログラムが一斉に実施され多数の生徒が海外での学校生活を体験した。

●入寮宣誓式

4月6日

両親が海外に在住している生徒のために用意された学寮に、新入寮生を迎えた。

●入学式

4月6日

新島記念講堂で中学校、高等学校の入学式が挙行された。

●中1宿泊研修

4月21・22日

同志社で学ぶ意味や建学の精神など、



2年生遠足

生活面や精神面を中心に学ぶ宿泊研修を、同志社琵琶湖リトリートセンターで実施した。プログラムの最後に若王子を訪れる予定であったが、雨のために墓参は中止となった。

●高1宿泊研修

5月9・10日

同志社で学ぶ意味や建学の精神など、生活面や精神面を中心に学ぶ宿泊研修を実施した。プログラムの最後に若王子を訪れる予定であったが、雨のために墓参は中止となった。

●中学遠足

6月16日

1年生は天ヶ瀬ダムと平等院をめぐるコース、2年生は京都嵯峨嵐山散策、3年生は山城自然運動公園に出かけた。

●高校球技大会

6月16日

バレーボール大会を実施。あいにく午後から降雨が激しくなり、午前中でプログラムを終えた。

香里中高

●国際交流イベント

12月10日

英語スピーチコンテストとアフリカ音楽コンサートなどを行い、ランチタイムには数力国の人々と楽しく交流した。

●始業式

1月8日

●高校2年生修学旅行

1月23・30日

訪問地がオーストラリアとなつて2年目。シドニー市内3泊と郊外のメルビーの1泊で実施した。帰国の際に、新燃岳噴火を理由とした飛行機会社の都合で、後発隊が余分に東京で宿泊を余儀なくされた。現地では、冬の日本と違う真夏の太陽の下、自然を大いに満喫した。

●卒業式

高等学校

3月8日

中学校

3月19日

高校生309人、中学生257人の卒業生がそれぞれの希望を胸に巣立った。

●ボストン交流プログラム

3月25日～4月4日

ボストンでの英語による授業や市内見学を通して、現地の学生との交流を深めた。

●入学式

4月8日

高校生307人、中学生247人の新入生を迎えた。

●新入生オリエンテーション

高校1年生

4月19・20日

中学1年生

4月21・23日

高校1年生は、近江八幡国民休暇村で宿泊し、カレーづくりにいそしんだ。また中学1年生は湯郷温泉で宿泊し、備前焼体験・運動会を通して友達づくりに励んだ。

●鑑賞会

中学3年生狂言

4月19日

高校2年生文楽

6月23日

高校1年生新劇

6月23日

●オープンキャンパス

1回目

5月29日

2回目

6月25日

1 回目は、台風による警報発令の中、午後の部を中止したにもかかわらず、体験授業等に参加する小学4・5年生と保護者計500人を超える方々が来校した。2 回目は、午前の授業参観や入試問題解説、午後からの施設見学やクラブ見学に小学6年生・保護者を中心に1000人もの来校者を迎えた。

小学校

●クリスマス礼拝・劇

12月10日

クリスマス礼拝では阿南孝也先生をお招きし「やさしさで包みこむ」と題した説教をしていただいた。ページェントや6年生の劇、そして聖歌隊やハンドベル・クワイアによる演奏を通じて、主イエスの誕生を心から祝う日となった。

●4年生宿泊体験学習（スキー合宿）

1月17～20日

4年生は石川県一里野高原でスキー合宿を行った。スキーが上達したことはもとより、仲間たちと生活をとともにし、様々な場面で協力することができたことも大きな成果であった。



1年生から5年生によるページェント

●1年生と同志社幼稚園との交流会

1月25日

同志社幼稚園年長クラスのみなさんと1年生が、同志社小学校で交流会を行った。今回の交流会では1年生は「どうししゃパーク」をテーマに掲げ、各クラスで楽しいコーナーを用意し、園児たちと一緒にでもらおうと懸命に企画運営を行った。最後に一緒に給食を食べ楽しい交流会となった。

●卒業式

3月12日

第2回の卒業式は「惜しまれる6年生になろう」を合言葉に頑張ってきた6年生に相応しい頑張りを感じた卒業式であった。卒業生の今後の活躍を教職員一同祈っている。

●入学式

4月9日

今年度も目をきらきら輝かせた新入生が90人入学してきた。この新入生と過ごす6年間で非常に楽しみである。



スキー場での集合写真



1年生が用意したいろいろなコーナーを回る

●入学おめでとうの会・ワイルドローバー結団式

4月23日

6年生のピアノ伴奏が響く中、上級生が作った花道を通して、1年生が入場した。「おめでとうの会」では2年生から6年生がそれぞれ工夫をこらし、小学校の生活を紹介した。会の最後には1年生からお礼の歌の発表があり、かわいい振り付けに上級生から歓声があがった。引き続き行われたワイルドローバー結団式では、1年～6年の縦割りグループで編



花の日礼拝で花を捧げる子どもたち

●花の日礼拝

5月20日

成された号にわかれ、自己紹介をしたり、みんなで遊んだりして親睦を深めた。

●なかよし遠足

4月28日

1年生と6年生は校祖墓参、2年生は宝ヶ池から大黒天山へ、3年生は大日堂將軍塚方面へ、4年生は貴船・鞍馬方面へ、そして5年生は比叡山への登山を行った。

花の日礼拝で一人ひとりが持ち寄ったお花を捧げ、神様の創られた自然の恵みに感謝する礼拝を行った。同時に、お世話になっている人たちへ感謝の気持ちを伝えた。

国際学院

●初等部入学式

4月4日

同志社国際学院初等部は4月に開校し、同志社諸学校の新たなメンバーとして加わった。入学式には、138人（1年生58人、2年生38人、3年生44人）の子どもたちを迎え、DIAのまっさらな校舎に新たな息吹が吹き込まれた。

●図書館開館

5月9日

国際学院の中心とも言える図書館が開館した。蔵書の整理等の遅れから、待ちに待った図書館の開館となった。和書約8千冊、洋書約千冊でのスタート。最終的には3万冊の蔵書を予定している。本や図書館が大好きな子どもたちを育てることが大きな目標の一つである本校にとって、毎日本を読んだり、貸し出したりするために多くの子どもたちが図書館に入っていく姿が見られることはうれしい

限りである。また、夏休み明けには国際部の開校に合わせて、さらに洋書が2千冊増える予定である。

●校外学習

初等部の特徴の一つは、子どもたちが積極的に校外へ出かけ、本物を見たり触れたりする機会を多くもつことである。各学年とも「探究」と呼ばれる授業の單元ごとに校外学習にをかけている。3年生は福寿園CHA研究所に出かけお茶の栽培から生産について学び、2年生は山城町森林公園でモリアオガエルの産卵を見学し、1年生は公共心を学ぶためにJR祝園駅や木津川市立図書館へと出かけた。

●水泳教室

5月24日～7月8日
校内にプールがない国際学院では、近隣のユニチカスイミングクラブで水泳教室を実施している。学年ごとにクラブのバスでプールに向かい、泳力に応じた3つのグループに分かれてクラブのコーチの指導を受けた。顔に水をかけることから始めるグループから、ある程度泳ぎのできる子どもたちまで、それぞれに水泳教室を楽しんだ。

●特別礼拝

6月27、29日

宗教教育強調週間であるこの週に、2つの特別礼拝を行った。27日には、同志社国際中学校・高等学校の岸本兵一先生を迎え、ウクレレやバンジョーの演奏、歌、腹話術、また、新島先生が使われたアイスクリーム・メーカーまで登場する約1時間に及ぶ礼拝の時間をもつた。ふだんとは一味違った礼拝に、子どもたちはとても喜んで参加していた。

29日には、向島にある愛隣デイサービスセンター所長の平田義先生を迎え、人權教育とも関連して、「みんなちがって、みんないい」というテーマでお話していただいた。このお話を受けて3年1組の児童が近隣の相楽デイサービスセンターを訪問し、施設の方々と交流を行った。

幼稚園

●クリスマス礼拝・祝会

12月17日

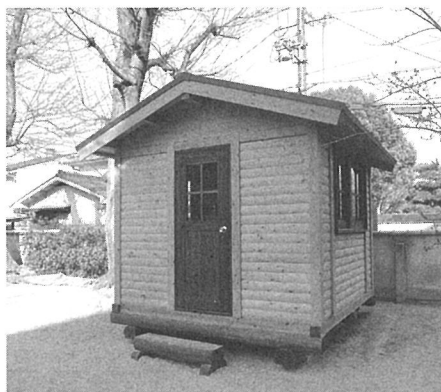
寒梅館にて行われたクリスマス礼拝・祝会では、年長組のページェント降誕劇に、年中組が聖歌隊として参加し、たくさんのお讃美歌を歌った。また祝会では、年中・年長組がダンスを披露し、会衆の方から手拍子、拍手をいただいて、会場

が一体となり共にクリスマスをお祝いた。

●ぬくもりの家完成

1月15日

園庭に小型のログハウスを設置した。未就園児クラスでの活用や、教員と少人数の園児がゆったりとした関わりを持ち、笑顔が溢れる居場所として活用する予定である。



ぬくもりの家

●同志社小学校との交流会

1月25日

同志社小学校を年長組が訪問し、小学生の歌を聴き、ペアになった1年生にゲームを通して学内を案内してもらう等、交流を楽しんだ。その後、初めての給食

と一緒に味わった。

●園外保育（伏見稲荷大社） 1月28日

体力作りを目的に毎朝速歩の積み重ねを行ってきた総まとめとして、全園児で京阪電車に乗り伏見稲荷大社へ行った。たくさんさんの鳥居に驚きながら、元気に速歩で山の斜面を登る姿が見られた。

●伝統芸能鑑賞「南京玉すだれ」

2月2日

「南京玉すだれ」を全園児で楽しんだ。威勢のある掛け声と共に、すだれが色々な形に変化すると園児達から大歓声があがった。

●卒園礼拝

3月3日

年長児の卒園を記念して大学神学館礼拝堂にて、礼拝を厳かに行った。

●マラソン大会

3月5日

毎朝、全園児が園庭でマラソンを実施して体力向上を目指してきた総仕上げとして行なった。保護者の声援の中、鴨川の河川敷を力一杯走った。普段以上に頑張っている園児の姿に、保護者の応援の声も一段と大きくなった。

●卒園お茶会（年長組）

3月7日

年長児が、卒園記念として、1年間の茶道稽古の成果を保護者に披露した。



マラソン大会

●卒園式

3月16日

思い出がいっぱい詰まった本園ホールで、在園児、保護者、教員が共に、年長児の卒園をお祝いした。卒園児の答辞と歌声が力強く響き渡り、誇らしげな顔の30人が卒園証書を胸に巣立った。

●入園式

4月11日

保護者に手を引かれて、新入園児30人が入園した。在園児との歌や触れ合いダンスで表情も和らぎ、新しい園児の入園



卒園茶会

をお祝いした。

●同志社小学校との交流会

5月24日

同志社小学校の4年生が来園。全員で讃美歌を歌ったり、グループに分かれて小学生が考案したゲーム・鬼ごっこなどを楽しむ交流を持った。優しく語りかける小学生に、嬉しそうに傾く園児達の表情が見られた。

●未就園児教室

（4月25日～7月15日、計22回実施）

地域の子育て支援の一環として、乳児から就園前の親子を対象とした教室を開いている。教員と共に、紙芝居や親子触れあい遊び等をして園で過ごす時間を持った。幼稚園は子育ての悩み等を聞く、子育て支援センターとしての役割も担っている。

●春の遠足（年中・年長組） 5月31日

年中・年長組の園児が叡山電車に乗って宝ヶ池子ども楽園を訪れた。爽やかな晴天の中、芝生の上でお弁当を食べ、長いすべり台を滑ったり、迷路を楽しみ身体もいっぱい動かして帰途についた。

●春の遠足（年少組） 6月3日

雨天延期のため、遠足の場所を府立植物園から京都御所に変更した。蝶々を追いかけたり、木の実を拾ったりと、年少児たちは芝生広場で初めての遠足を楽しんだ。

●花の日礼拝 6月14日

園児が家から花を持参し、美しい花を与えて下さった神様に感謝する礼拝を行った。園児達が、地域の方や学内の事務室を訪問し、花束と共に日頃の感謝の気持ちを届けた。